



当たり前前の方が当たり前前ができるように!

長い夏休みが終わり2学期が始まりました。今年の夏は暑い日が多く、学校へ登校するだけでも大変でしたが、たくさんの生徒が積極的に部活動や学習会に参加していました。夏休み後半、挨拶をしてくれた生徒に「夏休みには、これを頑張ったというものはあったかな?」と尋ねると、ちょっと首をひねっていました。そこで、「本は読めたかな?」と尋ねると、「一冊しか読めませんでした。本はあまり好きではなかったのですが、今まで読まなかったのだけれど、頑張って一冊だけ読みました。」と小さな声で答えてくれました。この生徒は部活動にも意欲的に参加し、しかも、今まで読まなかった本を、しっかりと一冊読み上げることができたのですから、「本を1冊読み上げた!」「部活動に一生懸命に取り組んだ!」と答える資格はあるはずです。

思春期を迎える中学生にとって、自分の考える理想(目標)と比べ、自分に対する評価はどうしても厳しいものになりがちです。思春期は、言動とは裏腹に、他人の目や他人との比較に悩む時期です。生徒の多くは、普段、当たり前前頑張っている「自分のよさ」に気づいていないのではないのでしょうか。ですから、保護者の方にも、お子さんが当たり前前のように取り組んでいる「よさ(頑張り)」に目をむけて、見つけた「よさ(頑張り)」を、ぜひ、お子さんに伝えていただきたいです。

また、集会の中で「人間力の向上なくして競技力の向上なし」というナショナルトレーニングセンター(日本初のトップ選手用のトレーニング施設)に掲げられた言葉を挙げ、(部活動でも、勉強でも)目標を達成するためには「人間力を磨く」ということがポイントであると繰り返し伝えてきました。2学期は、どの学年でも一番力をつけられる時期でもあります。受験生だから…、勉強や部活が忙しいから…とって特別扱いをするのではなく、家事手伝い等、やるべきことにはしっかり取り組ませることが大切です。

保護者の皆さまには、体育祭を始とする様々な行事で、1学期以上にお世話になることが多いと思いますが、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

夏休み中の活動結果

《 群馬県総合体育大会卓球大会 》

男子団体の部 準優勝

男子個人の部

くん ベスト16
くん 3回戦進出
くん 2回戦進出

《 第51回関東中学校卓球大会 》

男子団体予選リーグ

梅田中 0 対 3 新座二中(埼玉)

梅田中 0 対 3 実践学園(東京)



〈群馬県総体卓球大会準優勝した卓球部〉

8月8日(火)山梨県甲府市小瀬スポーツ公園体育館で開催された第51回関東中学校卓球大会に、群馬県の代表として卓球部が出場しました。予選リーグでは、今大会で優勝(昨年度に続き2連覇)した東京都代表の実践学園と、埼玉県代表の新座第二中学校と対戦しました。残念ながら勝つことはできませんでしたが、今まで鍛えてきた力を十分に発揮し、強豪校を相手に最後の一点まであきらめずに戦い抜くことができました。この関東大会の場に、チームとして立てたことは、どの生徒にとっても、良い経験と自信になったことと思います。梅田中学校区の皆さまには、ご声援をいただきありがとうございました。